



森のめぐみの体験学習

エコシステムアカデミー

2024年4月より、ビジターセンターである白河山荘と白河地区「村火社有林」を中心に体験型森林環境学習の場(体験型学習、森の調査・研究)を提供し、生物多様性に貢献しながらグループの企業価値向上と発展に寄与する活動を展開して参りました。

これまでの取り組みについて、ご紹介いたします。

尚、体験型森林環境学習関連での村火社有林への来場者は、過去最高の150名となりました。(体験型森林環境学習関連は、スタッフ含め総勢217名にて実施致しました。)

<トピックス>

「三菱製紙 村火社有林」が環境省より「自然共生サイト」に認定(2024年10月21日より5年間)

三菱製紙株式会社の村火社有林(福島県西郷村)が、環境省より、「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」として「自然共生サイト」※1に認定されました。

「村火社有林」は、三菱製紙グループのサステナビリティ推進活動の一環として、生物多様性の維持・保全活動と体験型森林環境学習の場(体験型学習、森の調査・研究)を提供しており、その幅広い取り組みが評価され、このたびの認定となりました。

尚、当社は、環境省が創設した「生物多様性のための30by30アライアンス」※2にも参加しており、今後も、「三菱製紙グループ環境憲章」※3の下、生物多様性の維持・保全活動をはじめとして、環境価値を創出し持続可能な地球環境に貢献すべく取り組んでまいります。

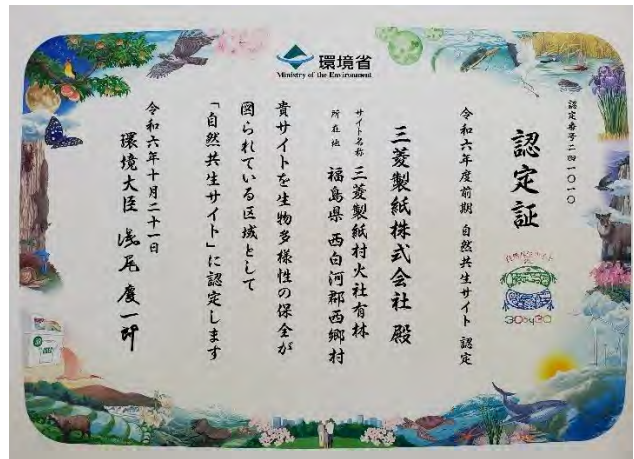
※1:(参考)[自然共生サイト | 30by30 | 環境省 \(env.go.jp\)](https://www.env.go.jp/natural_coexistence/)

※2:(参考)[30by30 | 環境省 \(env.go.jp\)](https://www.env.go.jp/30by30/)

※3:(参考)<https://www.mpm.co.jp/env/charter.html>



2024年11月20日「令和6年度 前期 自然共生サイト認定証授与式」に出席致しました。



会 場 : 環境省 東北地方環境事務所
宮城県仙台市

I 体験型森林環境学習

●にしごう紙すきサークル～村火社有林
日 時 2024年4月18日(木)
来場者 7名(スタッフ含め計10名)

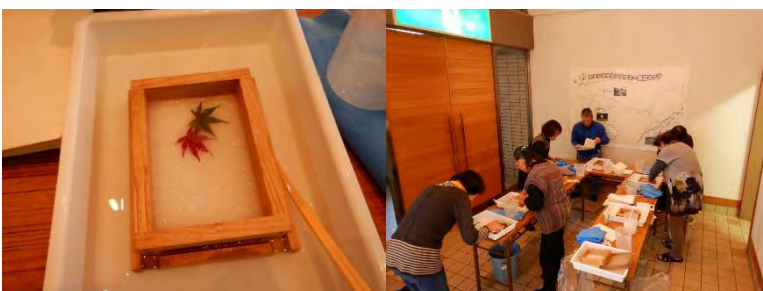


○村火自然観察～にしごう紙すきサークルは「紙すき体験」をサポートしている地域ボランティアです。村火社有林の自然観察を体験、楽しんで頂きました。



村火社有林～集合写真(拠点にて)

紙すき実習を継続頂き、エコアカ活動(室内企画)のサポーターとして活躍しています。



白河山荘～紙すき実習の様子

●インストラクター研修～村火社有林の自然観察実習

日 時 2024年4月21日(日)

来場者 2名(スタッフ含め計 5 名)

○自然観察～村火の体験ゾーン「自然観察路」に沿って、樹木の観察ポイント、安全行動等の技術を実習致しました。



●第7回エコシステムアカデミー室 植樹会

日 時 2024年 5 月25 日(土)

来場者 23名(スタッフ含め計26名)

○エコシステムアカデミー室は 2010 年に設立され、2011 年の東日本大震災の翌年 2012 年より隔年で村火社有林にて、アカマツ林から本来の植生であるミズナラ林へ復元する体験型森林環境学習として植樹会を開催しております。

植樹エリアを「ニッシー・カッシーの森」と称し、樹木の生長の過程を一望することができます。この植樹会は、従業員ならびに地元の方々や関係者に参加いただき、森づくりを体験してもらうことにより、森の循環の大切さ、森のめぐみの豊かさへの理解を深めてもらうことを目的としています。

このような活動を会社内外の方に知ってもらうことは、生物多様性に貢献しながらグループの企業価値向上と発展、社会貢献活動を PR することにもつながると考えております。

*今回は、ミズナラ95本、ヤマザクラ5本、計100本の苗木を植樹しました。

(第1回の植樹会より、総合計964本を植樹致しました。)



ドローンより撮影した集合写真



記念植樹(ヤマザクラ)



記念植樹集合写真



大きく育つように！！



願いを込めて！



みんなで植えました！！

2024 年度より、植樹エリア「生長の森」を「ニッシー・カッシーの森」へ名称を変更しました。

●わくわく少年クラブ～白河市大信公民館
日 時 2024年6月1日(土)
来場者 20名(スタッフ含め計31名)

○白河市教育委員会大信公民館主催「わくわく少年クラブ」令和6年度第1回講座として、
当社の体験型森林環境学習を受講頂きました。



村火社有林～集合写真



川のはたらきを学習しました！



紙すき体験を通じて森を考えました！



ビジターセンター～集合写真

●販売代理店の得意先様～森林体験受講
日 時 2024年6月13日(木)～14日(金)
来場者 9名(スタッフ含め計 12名)

○三菱王子紙販売(株)経由、得意先様の森林体験を実施致しました。
植樹、育樹、森の観察等、林業体験を通じて、原材料調達や森の仕組みを学習しました。

<体験の様子>



集合写真



植樹体験



苗木～短冊(アカマツ)へ願いを込めて！



樹木計測～樹高測定



下刈り体験



枝打ち、間伐体験



丸太切り体験



自然観察

◎受講者様の感想は、以下の通りです。

- ・森林の観察や樹木の測定、植樹を通して森と紙の循環の良い経験ができた。
- ・ペーパーレスも含め、SDGsに貢献する事は何かを身をもって経験が出来た。
今後もこの「体験型森林環境学習」の取り組みを是非、継続頂きたいと願っている。
村火社有林は、社員研修やビジネス対応に活用出来ると感じた。
- ・「木を伐ること、そして、植林することが必要である」森のサイクルが良く理解出来た。
- ・木の育成は、十年単位、森林となると百年単位の時間を要する事がよくわかりました。
- ・植樹体験を企画頂き、感謝します。素晴らしい体験が出来ました。

●令和6年度わくわく探検隊～西郷村教育委員会生涯学習課中央公民館

日 時 2024年7月6日(土)

来場者 28名(スタッフ含め計40名)

○西郷村教育委員会生涯学習課中央公民館が主催している「令和6年度わくわく探検隊」の皆さまに受講を頂きました。

・森林体験(自然観察・笹舟づくり)、森林と紙すきの講座、紙すき体験、紙の手提げ袋づくりを体験頂きました。



村火～集合写真



自然観察へ出発！



川遊びは人気があります！！



“笹舟”を作りました



森の恵みにふれて！！



樹木の直径を計測しました！



紙の手提げ袋を作りました！！



ビジターセンター～全員集合！

西郷村中央公民館より、子供達は、自然環境や SDGsの大切さを改めて実感出来たとの報告がありました。

- ・子供達からは、「森林探検や紙バック作りが楽しかった」「液体のような物が紙(はがき)になって驚いた」「紙をつくったり、木の太さを測ったり楽しい1日となった」「自然環境を守るために森林を大切にする」などの感想が寄せられた。
- ・保護者からは、「たくさんの人と体験活動が出来てありがたかった」「とても楽しい活動が満載で子供はとても楽しかったようである」「たくさんの方にお世話になり楽しく活動でき感謝している」などの声が多く寄せられた。

●近隣企業様～森林体験受講

日 時 2024年7月12日(金)

来場者 2名(スタッフ含め計4名)

○近隣企業様より、森林体験等の様子を視察したいとの希望があり、受講頂きました。

30by30(自然共生サイト)、自然観察、植樹、エコアカの概要、調査内容等について、体験、説明と意見交換を行いました。



植樹体験

土壌動物調査

森のめぐみ

●近隣住民様～森林体験受講

日 時 2024年7月27日(土)

来場者 5名(スタッフ含め計8)

○近隣住民より、森林体験の受講要請がありました。

自然観察、丸太切り、紙すき体験を実施しました。



集合写真

自然観察

丸太切り

●第1回「ニッシー・カッシーの森」株主様植樹会
日 時 2024年9月21日(土)

○村火社有林「ニッシー・カッシーの森」にて植樹体験を実施致しました。

苗木ミズナラ65本を植樹頂きました。

尚、2012年より開始致しました植樹は、2024年9月21日で合計1,034本になりました。
1,000本達成です！これまでのご協力に感謝申し上げます。

引き続きのご支援をお願い申し上げます。



「第1回ニッシー・カッシーの森」植樹



苗木植樹「1,034本」

II 森の調査・研究

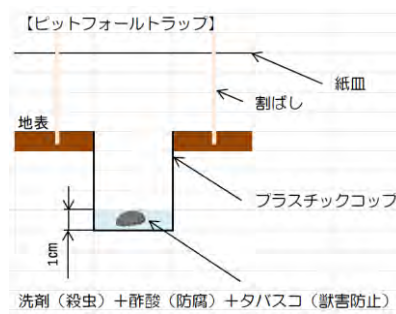


1. 土壌動物調査(フォールトラップ法)~2024年9月10日(火)~13日(金)実施致しました。

2024年より「欠入社有林内2エリア(各20点)」を追加、「村火社有林内5エリア(各20点)」とともに、調査を実施致しました。



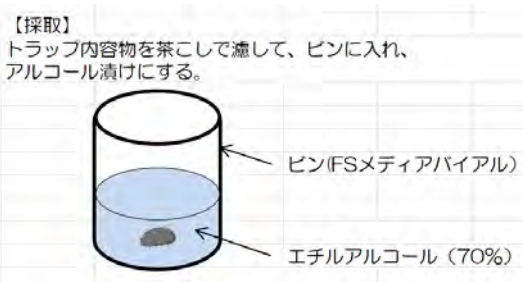
林内にセットしたトラップ



トラップの構成



採取ビン



採取ビンの構成

<結果>

村火社有林～昨年同様、多種多様な土壌動物(ザトウムシ、オサムシなど)を確認できた。

自然度試算の結果(青木淳一『土壌動物を用いた環境診断』により採点、判定した。)は、エリア全体として”自然が豊かな状態”であることが確認出来た。

<調査エリア>

- エリアA(間伐・下刈りした森)
- エリアB'(間伐・下刈りしていない森)
- エリアC(間伐・下刈りした森)
- エリアD(強間伐・植樹・下刈りした森)
- エリアE(強間伐・下刈りした森)

<今後>

定期的な下刈り(下刈り)管理の継続が必要である。

また、間伐を実施して約15年経過している事から、必要に応じた間伐の実施が必要である。

欠入社有林～「グループA(人為による環境の変化(劣化)にもっとも敏感、すぐに消滅したり減少したりする。)のザトウムシ、オオムカデ、ヨコエビ、ヤスデなど」が確認されなかった事から、自然度試算の結果(青木淳一『土壌動物を用いた環境診断』により採点、判定した。)は、“自然性が低い状態”であることが確認出来た。

<調査エリア>

- エリアあ(アカマツ林:笹が生い茂り間伐していない。)
- エリアい(スギ林:下層植生に乏しい環境で間伐していない。)

<今後>

初めての調査であった事から、森林の状態や影響等については、判断が難しい状況である。今後、調査を継続する。

2. 社有林に生息する動植物観察記録用トレイルカメラのデータ回収を実施致しました。

2024年4月より、欠入社有林の観察を開始致しました。村火社有林と併せて調査を継続しています。

欠入:ニホンジカ、イノシシ、カモシカなどが撮影されている。



横川沿い(2024/10/1)



横川沿い(2024/4/13)

村火:ニホンジカ、イノシシ、クマ、タヌキ、ヤマドリなどが撮影されている。釣り人が増加している。



堀川沿い(2024/10/21)



堰堤(2024/7/8)

3. 水生生物、昆虫、植物の調査を開始致しました。～村火社有林

2024年8月21日より、村火社有林「中の沢」にて、水生生物調査を、
自然観察路では、昆虫調査をそれぞれ開始致しました。

植物調査は、2024年7月より開始致しました。(実施日:7/23.10/11.10/23.10/30)

森の豊かさを確認し、生物多様性の維持・保全活動を継続して参ります。

<水生生物の調査>～環境省水・大気環境局「水生生物による水質判定」を参考に調査しました。

*村火社有林内の沢は「きれいな水 水質階級Ⅰ」です。

カワゲラ類



ヤゴ



サワガニ



ブユ類



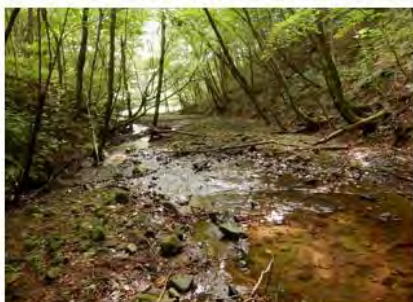
イワナ (稚魚)



ヤマメ (稚魚)



堰堤より上流 (堰堤より約100m上流から調査)



堰堤より下流 (林道より約50m先から調査)



<昆虫の調査> ~ 苗木を植える場所は、トンボ目・チョウ目・カメムシ目などが多く確認出来ました。



クロヒカゲ、他



バッタ



アキアカネ



カマキリ



キンモンガ



クロヒカゲ、他



セミのぬけがら



セミの羽化



ザトウムシ



ヤマアカガエル

<植物の調査> ~ 開花時期にあわせ、確認作業を実施予定です。

エビネ 番号：① 撮影日：2024年10月30日

ツチアケビ 番号：② 撮影日：2024年10月30日



<巣箱設置> 村火の体験ゾーンへ設置(4か所)致しました。



ニッシー・カッシーの森



堰堤付近



シジュウカラなどの小鳥用

4. 白河地区社有林の管理

2024年度は、5月、8月、10月に「村火、欠入、赤仁田」の状況確認を実施致しました。

* 欠入のヒノキ倒木を撤去しました。



5. 村火社有林「ニッシー・カッシーの森、自然観察路」の下刈り(笹刈り)作業を実施致しました。



笹刈り作業前



笹刈り作業後

Ⅲ 森の育成・管理・利用

1. FSC®森林認証－FM 認証／COC 認証

外部委託先への教育を実施致しました。

FM 認証更新監査は、5/21-22(現地監査:村火・欠入社有林)実施致しました。

COC認証年次監査は、8/1(現地監査:みなみ製材所)実施致しました。

FSC®C021528

2. 村火「体験ゾーンの出入口」に立入禁止看板を設置致しました。

トレイルカメラの観察等により、釣り人等の侵入者を確認しています。

社有林内の安全確保のため、立入禁止の看板を設置致しました。



社有地に付き立入禁止

三菱製紙株式会社

エコシステムアカデミー室

IV その他

1. 安全・教育

林内作業時に蜂刺されによるアナフィラキシーショックの症状が出る可能性がないかを確認するために、5/13 蜂(ミツバチ、アシナガバチ、スズメバチ)アレルギー検査を実施致しました。

2. 三菱グループ報「マンスリーみつびし」の「拠点訪問&ご当地情報」にエコシステムアカデミー室が取材を受けました。掲載内容は、以下のアドレスより、ご覧頂けます。

—————■■■掲載記事アドレス■■■—————

・福島は白河の深い山中に、三菱製紙の社有林あり。

エコシステムアカデミーなど地球環境と森を守る 3 人のベテランの物語。

[https://www.mitsubishi.com/ja/profile/csr/mpac/monthly/office visit/2024/11/1.html?utm_source=app_new?utm_source=mail241128](https://www.mitsubishi.com/ja/profile/csr/mpac/monthly/office%20visit/2024/11/1.html?utm_source=app_new?utm_source=mail241128)

・東北の玄関口、白河市・西郷村。

三菱製紙社員がおすすめるご当地グルメと白河の関。

[https://www.mitsubishi.com/ja/profile/csr/mpac/monthly/local info/2024/11/1.html?utm_source=app_new?utm_source=mail241128](https://www.mitsubishi.com/ja/profile/csr/mpac/monthly/local%20info/2024/11/1.html?utm_source=app_new?utm_source=mail241128)



3. 三菱製紙株式会社の村火社有林(福島県西郷村)が、環境省より、「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」として「自然共生サイト」に認定された事を西郷村 高橋村長へ報告致しました。



4. 6/12 赤面山を緑にする会総会へ出席致しました。

以 上

【お問合せ先】

エコシステムアカデミー室 事務局(担当:田村博之)
(E-mail)ecoaca@mpm.co.jp



必見！エコアカ森のめぐみのブログはこちらをクリック
<https://esa.matrix.jp/>

三菱製紙エコシステムアカデミー
ホームページはこちらから



<https://www.mpm.co.jp/ecosystemacademy/index.html>

三菱製紙 Green Webcast は
こちらから



<https://www.youtube.com/@greenwebcastmitsubishipa4678>

【発行】エコシステムアカデミー室 事務局 田村博之

【発行日】2024年12月

<体験型森林環境学習のご案内>

- ・社有林体験：森林観察、植樹、育樹体験等。
- ・室内体験：森林環境学習、安全教育、紙すき体験等。
- ・10名程度のプログラムです。
- ・受講料は、無料です。(備品等、費用は実費ご負担頂く場合があります。)
- ・集合・解散場所(白河山荘)までの往復交通費・宿泊費・食事などは、来場者様のご負担です。
「集合場所(白河山荘の住所:福島県西白河郡西郷村大字真船字欠入 9-17)」
- ・詳細は、事務局までお問い合わせ下さい。

【申し込み・お問い合わせ】 下記事務局までお気軽にお問い合わせください。

三菱製紙株式会社 コーポレート・ガバナンス本部 総務部 エコシステムアカデミー室
田村博之

(住 所) 福島県西白河郡西郷村字前山西3番地

(E-mail)ecoaca@mpm.co.jp